



2025.12月第685号

発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

## 解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

イザヤ書7章のインマヌエル預言は、マタイ福音書で語られる主イエスの誕生の中でも、とても大切な箇所である。この預言は、南王国ユダが北のイスラエルとアラムの王レツインの同盟軍に脅かされる緊迫した状況の中で語られた。

「王の心も民の心も、森の木々が風に揺れ動くように動揺した」(7・2)——ここは、恐れと不安に押し潰されそうな人々の心の動きを、詩的な表現で描いている。

そのような中、ユダの王アハズに呼びかけ、イザヤは告げた。「落ち着いて静かにしていなさい。恐れることはない」と。そして、北イスラエルとアラムの滅亡を予告した。

しかし王はそれを信じず、反論する。その時イザヤはこう告げるのだ。

「ダビデの家よ聞け。あなたたちは人間に／もどかしい思いをさせるだけでは

足りず／わたしの神にも、もどかしい思いをさせるのか」(イザヤ7・13)。

「インマヌエル預言」、それは人にだけでなく、神にさえもどかしさをもたらすものに対する、神の約束の言葉なのだ。

この幼子は、歴史的には後のヨシヤ王を指すと考え

## 瞑想

見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。(イザヤ書7章14節)

主幹牧師 榎本 恵

こんな言葉が出てくる。「日に日に世界は悪くなる。気のせいか。そうじゃない」——なんとも今の時代を象徴するような歌ではないか。格差社会や戦争、病や孤独といった現実の厳しさの中で、私たちは「救い」や「希望」という言葉さえ、空に打つ声のようにしか感

じられないことがある。しかし、それこそが神にとつてもどかしい思いである。私たちは、現実のもどかしさに翻弄され、自らの無力さに苛まれ、救いを忘れがちである。しかし神はその何倍も、私たちを見捨てず、静かに、確かに共に歩んでおられる。

インマヌエル——神、わ

れらと共におられる。このしるしは、外の力や権力の勝利にあるのではない。揺れ動く王の心、混乱する民の中に、神は共にあるという静かな確信である。恐れや疑い、もどかしさのただ中で神の声に耳を傾けると、私たちは揺れ動く世界にあっても、揺るがぬ平安を知ることができる。

今年もまた、クリスマス

## アシュラムセンター 創立50周年記念企画

## アシュラムセンター職員(?) 紹介(2) (1976年4月号) アシュラム誌より



**榎本保郎…  
センター主幹牧師**  
1ヶ月のうち半分は旅を枕の生活。周りの人たちからもつと身体を大事にするようにと口をすっぱくして云われながらも、自然に忙しくなる生活に追いまわされていきます。そんなわけで、私信をいただいても殆どお返事を出せません。但し、憶えて祈ってます。



**榎山富美子…  
榎山委員長夫人**  
陰の委員長。若々しく美しい声は乙女のごとく、時々電話でその声を聞いた青年からプロポーズされるとか。祈りをもつてセンターのために尽くしてくださっています。御夫妻で八幡教会の重鎮。

## 日光オリーブの里アシュラム

## 証しの時々にて

佐々木 敬

私がアシュラムに出席できるようになったのは、保郎先生の一日一章、そして「いろいろ」という本との出会でした。パソコンで「いろいろ」を探した結果、アシュラムセンターのHPにたどり着いて、早天祈祷会や聖書教室にZoomで参加、またこうしてアシュラムに行くことができるようになりました。

綾子読書会を開くことができるように導かれました。

入居施設の中で始めたのですが、宗教活動はできず、参加者も80代、90代の高齢者で、いっとうなるか分からないというような状態だったので、恵先生に相談しましたら「祈りましょう!」というところで、早天で私のために1ヶ月間祈ってくださいました。

その結果、アシュラムの方を対象にいろいろ物語の読書会を開くという道が開かれました。そして、10月から月1回いろいろな先生物語の読書会を、素晴らしい信仰の方々と共に、開催することができ感謝でございます。神様が立ち上がれと言ったのは、お前の残

その中で、早天祈祷会中に「目覚めよ、目覚めよ、立ち上がれ」という御言葉をいただきました。最初私はその時は93歳になったばかりだったので、この者に「目覚めよ」と「立ち上がれ」と、神様は何を求めているのかと思っていた中で、三浦

されたその人生で、もう一度読書会を開き、これを生きがい、目標とせよということなのだとは分かりました。

いろいろ先生とその他いろいろ先生を心を含めて書き綴られた三浦綾子先生を神様がどのように導き、どのようになさったかということとを、この図書を通して体得できれば良いなと思います。

—中略—

どういうことになるか分かりませんが、ただ神様の導きを信じて、この読書会が神様から祝福されたものになること、そしてそのためにこの者が忠実に、皆様方のお世話ができることを願っています。私に残された最後の時を、小さなネジの一つのような存在かも知れませんが、導きを信じ、そして助けて下さることを信じてやっていきたいと思



ますので、皆様方もお祈り下さるようお願いいたします。

(日本ホーリネス教団 狭山シャローム教会)



## 水戸教会一日アシラムの

### 集いに感謝

佐川 富美子

10月25日、茨城県内  
バプテスト教会の信徒  
20名が参加して一日ア  
シラムの集いが行わ

れました。この5年間  
榎本恵牧師をお迎えし  
て教会でのアシラム  
が開かれ、今年も参加  
できたことを主に感謝  
いたします。

榎本師は、教会  
でアシラムを行  
うことに意味があ  
ると語られまし  
た。「み言葉に聴  
くことと祈りをす  
ること」このよう  
な信仰生活は、教  
会生活が確かにさ  
れてこそである  
と受け止めまし  
た。私自身は、神  
に仕え、教会に仕  
え、人に仕えるよ  
い信徒には甚だ足  
りない者ですが、  
自分の教会の会堂  
で聴くこのメッ  
セージに励まされ  
ました。水戸教会  
で共に仕えること

は、日々続けている私  
の祈りです。

午前は静聴、心を静  
めて歴代誌上26章を読  
みました。午後は恵み  
の分かち合いと祈りの  
時。「彼らは年少者も  
年長者も家系ごとにく  
じを引いて、それぞれ  
の門を決めた。」(歴代  
誌上26・13)イエス様  
ならこの門衛のくじ引  
きをどう語られるだろ  
うと思ひ巡らし「クリ  
スチャンには、偶然と  
いうことはないの  
よ。」敬愛する牧師夫  
人の教えがいつも心に  
あることを話しまし  
た。くじ引きは、ただ  
主の意思に従う個人  
(頭)、家系に対する選  
びであり、主と共にあ  
る者が頂く祝福である  
と思えました。

ファミリィで祈りを  
することは、特別な恵  
みだと感じます。目の  
前にいるその方が神さ  
まの力を頂くことがで  
きるように、どうぞ、

どうぞと祈らなければ  
の祈りです。これから  
も、どうぞ、どうぞと  
主の恵みを祈ってまい  
ります。

(水戸バプテスト  
教会員)

## 「第49回山陰アシラム」に

### 参加して

稲田 敏朗

「第49回山陰アシ  
ラム」は、去る10月13  
日(月)に、日基安来  
教会(遠藤誠一牧師)  
を会場として1日集会  
が行なわれました。

今回の主題聖句は  
「御子は栄光の輝きで  
ある」(ヘブル1:3)  
が選ばれ、22名の参加  
がありました。「開会  
礼拝及びオリエンテー  
ション」は、遠藤誠一  
牧師がご用に当たって  
下さいました。

「山陰アシラム」  
は、今年で49回目を数  
え、榎本保郎先生が始  
められたアシラム運  
動の黎明期から責任者  
が三代に亘って引き継

がれた正統的な集会で  
す。恵みの集会はスケ  
ジュール通りに進行  
し、「充滿の時」のご  
奉仕は、日基久世教会  
の宮本裕子牧師が担当  
してくださり、先生ご  
自身の献身に至る真実  
なお証を披露してくだ  
さいました。

そうした中で、今回  
は特筆すべき事柄が  
あったのです。今から  
575年前の1450  
年頃、ドイツのヨハネ  
ス・グーテンベルグは  
「グーテンベルグ42行  
聖書」と呼ばれる歴史  
的な聖書を印刷いたし  
ました。そのオリジナ  
ル聖書の一冊(完本は  
世界中で22冊あるだ





け)は、慶応大学に保存されているそうですが、その後、完璧な複製版が895部印刷され、その貴重な複製版I、II巻を所有者の中村修伍兄(出雲ナザレ教会員)が会場に展示くださったのです。当日の参加者一同は、

予期しない望外の恵みに預かったのです。このようにして「第49回山陰アシュラム」は喜びに満ち溢れた集会となり、心からイエス・キリスト様の御名を崇めたのです。(江尾キリスト教会 前牧師)



佐賀昭子姉、学生時代の友ご夫妻(新潟)とシメオン黙想の家に宿泊。早天祈祷会の恵みに共に、昭子姉は、元、今治幼稚園勤務、保郎師園長。恵師、てるこ師大変お世話になった!

## 冬は去り、雨の季節は終わった。(雅歌2:11)

愛修會(アシュラム)の靈的養成の小さな旅路。



### 二、アシュラムの生活・行動・精神

私たちはアシュラムセンターに滞在し、まるで詩のような古き美しい建物の中で過ごしました。滞在了した部屋にはそれぞれ名前があり、「アンナ(Anna)」と「シメオン(Simeon)」という名が付けられていました。初日には心温まる歓迎会があり、その後は自分たちで食事を作ります。買い物や料理を共にすることで、日常の中に自然と交わり(フェローシップ)が生まれていきました。

この旅程は、早天祈祷会から始まります。アシュラムは、私たちが少なくとも一日参加することを心から願っており、私は両日とも参加できたことを本当に幸いに思います。もちろん、すべてのプログラムは日本語で進行され、私はほんの一部しか聞き取れませんでした。

早天祈祷会は、まず一章の聖書朗読から始まり、参加者が一節ずつ順番に読みます。その後、インターネットを通して榎本恵牧師の説教を聴きます(牧師はこの二日間、沖縄で奉仕されており、オンラインでアシュラムの説教と導きをしてくださいました)。続いて、参加者が順番に祈りを捧げ、最後にはアシュラムを訪れたことのある方や、その日に誕生日を迎えた兄弟姉妹のために、絵葉書を書いて祈りを捧げます。日本語の内容は十分に理解できなかったものの、祈りの感情と聖霊による内なる交わりは、心をもって受け取ることができました。

初日のオリエンテーションは非常に重要でした。光太さんは、アシュラムの核心的な精神を二つ紹介してくださいました。第一に「語るのではなく、聴くこと」。第二に「交わり」。そしてこの二つの精神を実践するために、第三の要素として「空白の時間」が設けられており、それぞれが自分自身で消化し、深めるための時間として用いることができます。(つづく)

王美書(台湾基督長老教會 台中復興教會牧師)

冬天已經過，雨已經煞

愛修會靈性培育の小さな旅程

王美書(台灣基督長老教會 台中復興教會牧師)

### 二、愛修會の生活、行動、精神

既行愛修會の靈修中心而起、諸君若詩の古蹟中、諸君所在樹有家己の名字、安娜(Anna)恰西面(Simeon)。一開始有真豐沛の歡迎會、然後愛家己煮食。通過做伙買物件、煮食、行生活中就形成團契。

這個行程的開始是早天祈禱會。愛修會衷心盼望諸君至少參加一日、我真有福氣能參加。當然、規程過程是用日本語來進行、我于無難有一主珠仔。祈禱6開始代先讀一章經文、每一個人輪流讀一節。然後通過網路聽榎本恵牧師講道(榎本恵牧師在兩天的靈修會中行沖繩服事、總是撒用網路來講道與引導靈修活動)。接著、每一個人輪流祈禱;最後結束還會為曾經造訪愛修會、生日為當日的兄弟姊妹寫明信片與代禱。日本語的內容難同聽無喻有、祈禱の感情恰行聖神內面的相通、卻當當用心領受。

第一日的簡介、非常要緊。榎本光太主任說明愛修會核心的精神有二個:第一、「母是講、是聽」;第二、交通。為著欲互這兩個精神通落實。第三、有一幕空白の所在、咱當當有客己消化或是深化體會の時間。

## シメオンの風7 「泰山タイル」 市橋 恵子

康子さん、光太さん、裕子さん、るつ子さん、樋口さん夫妻、ゆう君、彼らはアンナ祈りの家とシメオン黙想の家のためのチームです。アベンジャーズのような。

アンナとシメオン、この二つの建物への様々な配慮と維持は、このチームなしでは成立しません。建物全体の管理や保全。庭の草木の手入れ。そして訪問された方々に素敵な時間を過ごしていただくためのおもてなしにいたる様々なことに、それぞれの賜物を生かして奉仕されています。

最近、シメオンのためにまたひとつ重要な仕事が増えました。シメオン黙想の家のタイル磨きです。ある日、タイルの研究をされている方がシメオンを訪問され、調査された結果、玄関や朝食室の暖炉周りに使われているタイルは泰山タイルと呼ばれる貴重なものだとわかったそうです。泰山タイルとは、京都にあった泰山製陶所によって大正から昭和にかけて約半世紀の間に作られた建築用装飾タイルだそうです。すべて手作業で作られたもので、このタイルが使用された建物で現存しているものは数少ないらしい。(詳しくは泰山タイルのウェブサイトを参照してください)

12月に泰山タイルの調査が再び実施されるとのこと。ヴォーリズ建築の更なる側面がまたシメオン黙想の家の新たな物語を私たちに教えてくれるようでワクワクします。調査のために、タイル磨きに忙しい日々がはじまります。神様から与えられた奉仕に励まれるチームの皆さんに主の祝福を祈ります。



小さな部屋の小さな暖炉

## いえじま 雑記 30 「民泊始めました！」



最近、伊江島で民泊をはじめました。伊江島の民泊は基本的に修学旅行生を対象としていて、シーズンになると毎日のように全国から高校生や中学生が泊まりにきます。僕たち家族は毎日というわけにはいかないのですが、ここ一ヶ月くらい週に一度はお客さんが一緒でした。

一回の民泊で四人から六人の若者が家にきて、長いときには二泊三日をとものにします。にんじんが嫌いな子。朝の三時に起きてメイクをはじめる子。アニメが好きな子。港区の私立校に通いながら高校生の勉強を中学生で終わらせる子。モモンガを飼っている子。長いつけ爪をつけている子。挙げていけばキリがないですが、話を聞けば聞くほど、一緒に時間を過ごせば過ごすほど、みな個性豊かで千差万別、帰っていったあとはどの子もそれぞれに手のかかる、でもかわいげがあって憎めない子たちだったなあと思います。

きゃーっと叫び声がすれば、たいていがゴキブリかヤモリか、それともアリが出た合図。僕にしてもそういう虫は得意というわけではないのですが、平気なふりをして退治します。そうやって無理やり鍛えられる毎日です。伊江島に来られる際は、民泊体験できますので、お声がけください。

榎本 空(ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)



10月の修道場アシュラム。懐かしい方、初めての方々、ゆっくりみことばと共に。



11月の阪神ミニアシュラム(神戸聖愛教会)新しい方も自称、猪瀬和子姉の弟子の方々も熱心に。

50周年を迎えたアシュラムセンターは、いよいよ次の向こう岸へと向かって船を漕ぎ始めます。50年前に「向こう岸に渡るう」という主のみ声に聴き従った先代たちが、到達したこの向こう岸から、私たちは新たに漕ぎ出します。次の50年後を目指し、私は、このアシュラムセンターの主幹牧師として、ヨハネ14:27「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。」世が与えるのではない主の平和、今世界が混沌としていく中で、しかし私たちは、この主の約束を信じ、向こう岸へと渡るのです。どうか、これから共に祈ってください。きっと100年の年を未来のアシュラムの友が祝ってくれる事を信じて。

あとがき





中止、又はオンラインに変更もあり。  
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり！

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター  
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

### 12月の聖書教室など

3(※)	第15回 平和合同祈禱会（アシュラムセンター PM2:00）
8(月)	福岡聖書教室（福岡中部教会 PM1:30）
21(日)	ちいしば牧師記念チャペルタ礼拝（PM5:00）
22(月)	静岡聖書教室（旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30）
23(※)	東京聖書教室（御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30）
23(※)	しみじみする会（桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30）
1/9(金)	阪神ミニアシュラム（神戸聖愛教会 PM1:00）
1/10(土)	加古川祈りの家（フリーメソジスト加古川教会 PM1:00）

### 12月のアシュラムなど

1(月) 3(※)	アドベント-師座-リトリートアシュラム (シメオン黙想の家、アンナ祈りの家) 奉仕者 榎本 恵師 0748-33-4030 アシュラムセンター
5(金) 6(土)	アドベント-師座-リトリートアシュラム (シメオン黙想の家、アンナ祈りの家) 奉仕者 榎本 恵師 0748-33-4030 アシュラムセンター
7(日)	クリスマス礼拝（ちいしば牧師記念チャペル）愛餐会・コンサート（アンナ祈りの家）奉仕者 榎本 恵師/カフエ ちいしば大山シエフ/♪チャイムコンサート

### 2026年1月のアシュラム予定

12(月) 14(※)	第51回 年頭アシュラム 奉仕者 榎本 恵師/金田 佐久子師 0748-33-4030 アシュラムセンター
----------------	--

### 2月以降のアシュラム予定

2026年2月	ブラジルアシュラム
2026年3月2(月)～4(※)	第43回 台湾愛修會

949Pの書籍「証し」  
アシュラムセンターとの出会  
い感謝。



←この度の50周年記念講演、講  
師は最相葉月氏。きつかけは  
写真右の宇田慧吾師（かつてア  
シュラムセンター修道場住人）。

### 献金のお願い

創立50周年のため祈りお献げ下さった皆様、感謝致します。引き続きお祈りとご献金をお願い申し上げます。

キャッシュレス献金はこちらのQRコード  
または「オンライン献金.com」と検索ください。  
アシュラムセンター運営  
記号番号 01050-6-53772



### みことば



大きな柿！  
モッちゃんより

日本キリスト教団 豊島岡教会  
南花島集会所 牧師 江口公一

10章 「また、あなたがたの従順が完全なものになる  
とき、すべての不従順を罰する用意ができています。」  
(Ⅱコリント10:6)

パウロが導かれた教会の和解は、困難を極めたと思  
います。10章でパウロは、この和解が神の戦いであ  
ると語ります。その初めに「このわたしパウロが、  
キリストの優しさで心の広さをもって、あなたがたに  
願います」と記します。何を願うかというところ、6節  
の「あなたがたの従順が完全なものになる」事だと思  
います。「あなたがたの信仰が成長」(15)して。即ち、  
「キリストが、聖書に書いてあるとおりのわたしたち  
の罪のために死んだこと、…復活したこと」(1コリ  
ント15:3～4)を我が事として知り、パウロがそう  
せざるを得なかったようにコリントの信徒がこのキ  
リストに日々回心し、従順にキリストを生きる事です。

それは信仰の戦いです。「戦いの武器は肉のもの  
ではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに  
足ります。」(4a) これに続く「理屈を打ち破り」「高  
慢を打ち倒し」「思惑をとりこにしてキリストに従わ  
せ」は、人をキリストの如き神への従順へと造り上げ  
る事です。その主語は、新共同訳では「わたしたち」  
となっています。しかし、福音を伝えるのは人であり、  
造り上げるのは神です。ですから、4節aの意味上の  
主語「神」が主語であり続けると聞くのが相応しい  
と考えます。自分の考えと戒規を語る1コリント書か  
ら主の思いを語る2コリント書への変化はパウロの  
信仰の成熟を表していると思えるのです。

6節後半の、その時「すべての不従順を罰する用  
意ができています。」の主語も「神」と考えます。私  
達の従順が完全なものとなる迄、神は裁きを待って  
おられます。その時、神は全ての不従順を罰します。  
その裁きの中で私は自分の不従順を知り、新たな悔  
い改め(回心)を得るでしょう。キリストが私と共に  
十字架につけられ「父よ、彼らを赦したまえ」と祈  
っておられます。私は感謝し、更に隣人を思い、合  
わせて祈ります。気づくと隣人も私の赦しの為にキ  
リストと共に祈ってくれています。

私は、9年間仕えた2つめの教会を辞任し12月か  
らは無任所教師です。この6節は、私には、万人へ  
と広がる、教会の和解の言葉に思えます。



「早天祈禱会・誕生者への祈り」神様は、どんな時も約束を育てておられる方であり、  
必ず、まかれた種が芽を出し花を咲かせ、実をならせる事を信じ、一日一日を歩むことができすように。

(詩105) 恵